

記入例

農業振興地域整備計画変更申出書

令和 〇年 〇〇月 〇〇日

三次市長 様

申出人（土地所有者） 住所 **三次市十日市中二丁目8番1号**
氏名 **三次 太郎**
電話 **0824-62-6163**

三
次

次の農用地を農業振興地域整備計画の農用地区域から除外
内用途区分の変更
をしたいので申し出ます。

1 申出に係る土地の状況

土地の所在地		地目		土地利用状況 (生産状況)	面積 (㎡)	除外面積 (㎡)
町名・字	地番	台帳	現況			
〇〇町△	111	田	田	不耕作	400	250

2 変更土地利用計画の概要

用途・施設等	<input checked="" type="checkbox"/> 農家住宅 <input type="checkbox"/> 一般住宅 <input type="checkbox"/> 駐車場 <input type="checkbox"/> 資材置場 <input type="checkbox"/> 工場用地 <input type="checkbox"/> 山林原野 <input type="checkbox"/> その他（ ）
規模、構造 延床面積	住宅1棟 木造瓦葺1階建 建築面積150㎡ 車庫1棟(2台分)30㎡、物置1棟20㎡ 植栽等 50㎡ 合計所要面積 250㎡
変更後の使用者 (転用事業予定者)	住所 〇〇市△△町××□□番地 氏名 三次 一郎 (申出人との関係 長男)
利用開始予定時期	令和 〇年 〇月 頃

記 入 例

3 変更理由（詳しく記入してください）

(1) 申出地を除外・変更する理由（事業の目的，必要性，緊急性）

長男一朗は、現在〇〇市に妻と子ども2人でアパートに住んでいます。

昨年、私の妻が病で倒れ、自宅療養で私が介護をしております。農業をすることもままならないため、一部の田については人に貸して耕作してもらっている状況です。将来的なことを考えた結果、このたび長男が帰郷し農業を継承する決心をしてくれました。老夫婦と長男家族4人が住むのには、手狭であり、私の体力も限界であり早々に長男がUターンする際の住宅の申出をするものです。

(2) 申出地を変更しても周辺農地の利用に支障がないと判断している理由

（農地の集団化及び効率的かつ安定的な農業経営を営む者に対する農用地の利用集積等に支障がないと判断した理由）

農地の端に位置し集落にも接続しているため、農用地の集団性は保たれ、周辺農地の農業利用に支障はありません。また付近は集団的農地利用がなされている場所ではなく、個別小規模の農地が集落内に散在している場所であり、農地の集団性や担い手（認定農業者等）の農業経営改善計画等に支障をきたす場所ではありません。

4 当該申出地を選定した理由

(1) 農用地区域のこの農地でなければならない理由（当該申出地しか検討しなかった理由を含む）

農地以外の土地を探しましたが見つからず、やむなく自己で保有する農地の中で何箇所か候補地として検討しましたが、農地の集団性を損なうことなく、民家建設に適する土地は一カ所しか存在しませんでした。また狭いながらも道路に面しており、他の周辺農地の耕作に影響を及ぼさない土地であったため、今回の申請に至りました。

記 入 例

(2) 代替地の検討結果

土地の所在地	所有者	地目	面積 (㎡)	検討の経緯及び結果 (候補地とならない理由)
〇〇町△	三次太郎	田	100	当該地は、住宅を建築するには、面積的にも小さく、道路にも接していないなど建築要件を満たす土地でないため、困難である。
〇〇町△	三次太郎	田	800	当該地は、圃場整備を受けた土地の中心であり、転用は困難である。
〇〇町×	十日市一郎	田	500	当該地は、現在の住宅敷地の向かい側に位置し、当該計画を進める上でも良好な場所ではあるが、地権者との条件に折り合いがつかないため、断念した。

5 関係法令の許認可手続きの状況

農 地 法	協議済 ・ 協議中 ・ 協議予定
都 市 計 画 法	協議済 ・ 協議中 ・ 協議予定 ・ 協議不要

6 添付書類

位置図 (2,500～10,000 分の 1 程度)

地番図 (500 分の 1 程度)

利用計画図 (配置図)

登記事項証明書 (写し可)

現況写真

※※申出いただいた案件について、農用地区域の除外要件に該当しない場合や農業振興上影響のある場合、協議・調整が整っていないことが判明した場合は、受付けをしない場合があります。